

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	010501010100		事業の種類	2			
年度	29	事務事業名	市民体育館管理事業		予算事業名	市民体育館管理運営事業 優先度		3	
まちづくり目標		健やかな成長と人間力をのばせるまち			担当部局名	教育委員会体育振興課			
施策名(中)		誰もが気軽にスポーツライフを楽しむ			担当課長	小西まこと		担当者名	朝田訓弘
取組み事項		スポーツ施設の整備を行う			実施計画への記載	無		主要事業の指定	無
実施計画事業名		市民体育館改修							
根拠法規及び関連法規									
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民、体育館利用者							
	誰(何)を対象として	市民、体育館利用者							
	意図(どのような状態にしたいのか)	市民、利用者が市民体育館を利用し、安全に様々なスポーツ活動が展開される場を提供する。							

2 事業の概要 Do

実施の概要		市民体育館の管理運営、利用許可、使用料徴収その他条例で定められた管理運営に関する事業を行い、健康づくり、体力づくりなど、スポーツに親しめる環境づくりを行う。					
活動実績	項目	単位	27年度実績	28年度実績	29年度実績	30年度計画	
	利用件数	件	7054	7171	7023	7100	
	利用者数	人	102915	97232	69176	100000	

3 投入資源

		会計区分 一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		27年度決算	28年度決算	前年比	29年度決算	前年比	30年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.026	100	0.028	108	0.028	100	
	参事以下職員	0.340	0.332	98	0.328	99	0.340	104	
	臨時職員	0.140	0.139	99	0.148	106	0.160	108	
支出内訳	人件費	3,241,794	3,212,419	99	3,292,448	102	3,498,352	106	
	事業費	11,445,384	10,715,918	94	147,935,570	1,381	12,689,000	9	
	合計	14,687,178	13,928,337	95	151,228,018	1,086	16,187,352	11	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他	2,121,400	2,327,800	110	1,567,340	67	1,817,000	116	
	一般財源	12,565,778	11,600,537	92	149,660,678	1,290	14,370,352	10	
合計	14,687,178	13,928,337	95	151,228,018	1,086	16,187,352	11		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		市民体育館利用状況							
指標説明(式)		市民体育館利用人員							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
人	目標	90000	105000	116.7	3700	3.5	100000	2702.7	
	実績	102915	97232	94.5	69176	71.1			
指標名2		市民体育館利用状況							
指標説明(式)		卓球場利用人員(大人)							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
件	目標	3000	3000	100.0	3000	100.0	3000	100.0	
	実績	3703	3534	95.4	3922	111.0			

【効率性】

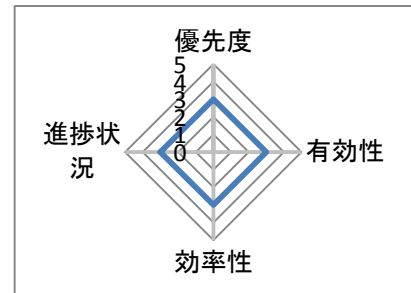
指標名1		市民体育館管理事業費							
指標説明(式)		市民体育館管理事業費総額							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
円	目標	12610000	12304000	97.6	128680000	1045.8	12689000	9.9	
	実績	11445384	10715918	93.6	147935570	1380.5			
指標名2		市民体育館管理事業費(修繕関係)							
指標説明(式)		修繕料+維持修繕費+工事請負費							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
円	目標	1050000	1005000	95.7	129050000	12840.8	1050000	0.8	
	実績	1054439	396360	37.6	132882760	33525.8			

5 事業の評価(29年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	競技場改修工事の影響により総利用者数は前年を大きく下回ったが、卓球場利用者人数においては前年度の実績を上回った。	3
	組織運営・適正管理	施設の延命化に向け、今後も効率的に維持修繕に取り組む必要がある。	
効率性	コストの節減	節電に心がけ、光熱水費抑制に努めた。	3
	執行体制の効率性	平日夜間、休日の体育館受付業務をシルバー人材センターに委託し、執行体制は効果的である。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	大きな事故もなく、健康維持の増進、スポーツの場を提供できている。	3

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	組織運営・適正管理	災害時の第一次避難所であることから、ライフライン断絶時、避難所として機能するため、設備の充実を図る必要がある。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた30年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果目標(改善)達成度	競技場の改修工事が完了したので、良好な状態を保つよう、管理者利用者で取り組む。

配点	25
総合評価	15

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	010501010200		事業の種類	2	
年度	29	事務事業名	市民プール管理運営事業		予算事業名	市民プール管理運営事業 優先度	
まちづくり目標		健やかな成長と人間力をのばせるまち			担当部局名	教育委員会体育振興課	
施策名(中)		誰もが気軽にスポーツライフを楽しむ			担当課長	小西まこと 担当者名 朝田訓弘	
取組み事項		スポーツ施設の整備を行う			実施計画への記載	無 主要事業の指定 無	
実施計画事業名		市民プール改修事業			市民プール改修工事		
根拠法規及び関連法規							
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民、プール利用者					
	誰(何)を対象として	市民、プール利用者					
	意図(どのような状態にしたいのか)	市民、利用者が安全に利用できる施設として、管理運営を行う。					

2 事業の概要 Do

実施の概要		市民プールの施設内における遊泳者の監視や利用者の受付対応、水質の維持管理を行うことにより、利用者が安全かつ快適にプールを利用できるよう努める。					
活動実績	項目	単位	27年度実績	28年度実績	29年度実績	30年度計画	
	利用者数(総数)	人	4437	3739	3920	4000	
	利用者数(中央プール)	人	0	0	0	0	
	利用者数(西部プール)	人	4437	3739	3920	4000	

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		27年度決算	28年度決算	前年比	29年度決算	前年比	30年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.026	100	0.028	108	0.028	100	
	参事以下職員	0.160	0.160	100	0.084	53	0.080	95	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	1,542,374	1,554,026	101	1,019,424	66	977,672	96	
	事業費	5,974,000	5,974,000	100	5,974,000	100	8,274,000	139	
	合計	7,516,374	7,528,026	100	6,993,424	93	9,251,672	132	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他	0	0	-	0	-	0	-	
	一般財源	7,516,374	7,528,026	100	6,993,424	93	9,251,672	132	
合計	7,516,374	7,528,026	100	6,993,424	93	9,251,672	132		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		市民プール利用状況							
指標説明(式)		市民プール利用人員(総数)							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
人	目標	4000	4000	100.0	4000	100.0	4000	100.0	
	実績	4437	3739	84.3	3920	104.8			
指標名2		市民プール利用状況							
指標説明(式)		小学校のプール利用(学校教育課程として)							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
人	目標	2000	2000	100.0	1500	75.0	1500	100.0	
	実績	1485	1270	85.5	1432	112.8			

【効率性】

指標名1		市民プール管理運営事業費							
指標説明(式)		市民プール管理運営事業費総額(賃金含む) ただし28年度からは指定管理							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
円	目標	6274000	6274000	100.0	6274000	100.0	6274000	100.0	
	実績	5974000	5974000	100.0	5974000	100.0			
指標名2		市民プール管理運営事業費(修繕関係)							
指標説明(式)		修繕料+維持修繕費+工事請負費							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
円	目標	300000	300000	100.0	300000	100.0	2300000	766.7	
	実績	0	0	-	0	-			

5 事業の評価(29年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	小学校の水泳指導、放課後児童保育として適正に使用できた。学校教育課程としての利用者は、前年より増となった。	4
	組織運営・適正管理	専門事業者に管理委託することにより、これまで以上に、利用者にとって魅力のある、適正な管理運営を図ることができた。	
効率性	コストの節減	水質管理に努め、使用水量、薬剤の節減に努めた。	4
	執行体制の効率性	指定管理することにより、適正な人員配置を行い、安全確保に努めた。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	少子化により、小学校の児童数が減少している昨今、大きな事故もなく、適正な管理運営ができています。	3

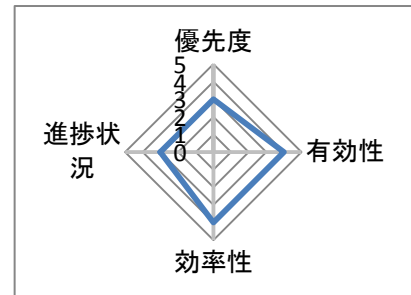
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性		施設が老朽化しており、有効な維持管理が求められる。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた30年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性		(株)アクアティックに管理運営業務委託し、連携を取りながら今後も適正管理に努めていく。



配点	25
総合評価	17

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	010501010300	事業の種類	2
年度	29	事務事業名	市民グラウンド管理運営事業	予算事業名	市民グラウンド管理運営事業 優先度
まちづくり目標	健やかな成長と人間力をのばせるまち		担当部局名	教育委員会体育振興課	
施策名(中)	誰もが気軽にスポーツライフを楽しむ		担当課長	小西まこと	担当者名
取組み事項	スポーツ施設の整備を行う		実施計画への記載	無	主要事業の指定
実施計画事業名	スポーツセンター土壌改良工事		東部公園グラウンド改修事業		
根拠法規及び関連法規					
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民、市民グラウンド利用者			
	誰(何)を対象として	市民、市民グラウンド利用者			
	意図(どのような状態にしたいのか)	市民が安全に利用できる施設として、適正な維持管理を行い、スポーツの場を提供する。			

2 事業の概要 Do

実施の概要		市民グラウンドの利用者が快適に利用できるよう、施設の整備、充実に努める。				
活動実績	項目	単位	27年度実績	28年度実績	29年度実績	30年度計画
	利用者数	人	28346	30278	23162	24000
	利用件数	件	260	351	224	250

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		27年度決算	28年度決算	前年比	29年度決算	前年比	30年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.026	100	0.028	108	0.028	100	
	参事以下職員	0.380	0.364	96	0.360	99	0.360	100	
	臨時職員	0.080	0.080	100	0.076	95	0.080	105	
支出内訳	人件費	3,389,934	3,299,726	97	3,349,776	102	3,429,912	102	
	事業費	3,922,865	3,516,634	90	4,654,736	132	3,841,000	83	
	合計	7,312,799	6,816,360	93	8,004,512	117	7,270,912	91	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他	363,870	360,800	99	407,100	113	312,000	77	
	一般財源	6,948,929	6,455,560	93	7,597,412	118	6,958,912	92	
	合計	7,312,799	6,816,360	93	8,004,512	117	7,270,912	91	

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		市民グラウンド利用状況							
指標説明(式)		市民グラウンド利用人員							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
人	目標	20000	20000	100.0	20000	100.0	20000	100.0	
	実績	28346	30278	106.8	23162	76.5			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

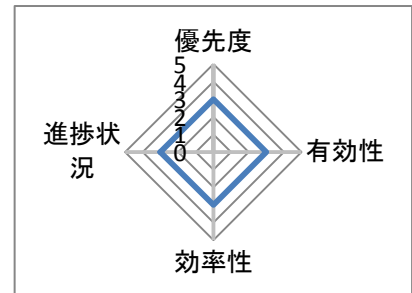
指標名1		市民グラウンド管理運営事業費							
指標説明(式)		市民グラウンド管理運営事業費総額							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
円	目標	4110000	3782000	92.0	3818000	101.0	3841000	100.6	
	実績	3922865	3516634	89.6	4654736	132.4			
指標名2		市民グラウンド管理運営事業費(修繕関係)							
指標説明(式)		修繕料+維持修繕費+工事請負費							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
円	目標	110000	110000	100.0	110000	100.0	110000	100.0	
	実績	262440	30240	11.5	1067256	3529.3			

5 事業の評価(29年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	天候により利用件数等が大きく左右されるが、前年度と比較し、利用者数は減となった。相生高校の耐震工事代替え運動場としての活用が終了したため。	3
	組織運営・適正管理	利用団体との協働により、良好な施設活用が図れた。	
効率性	コストの節減	台風災害による修繕や、水道施設の老朽による修繕箇所が発生したため、管理運営事業費(修繕関係)が増大した。	3
	執行体制の効率性	利用がない日および利用時間帯等、利用形態に合わせた委託管理の調整を行い、施設管理の効率性を図った。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	大きな事故もなく、適正な維持管理を行い、スポーツの場を提供できている。	3

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	手段の最適性	施設が老朽しているため、不調の早期発見に努め、対処する。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた30年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果目標(改善)達成度	使用実態に即した委託管理を行い、事業費節減に努める。

配点	25
総合評価	15

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	010501010400	事業の種類	2
年度	29	事務事業名	温水プール管理運営事業	予算事業名	温水プール管理運営事業 優先度
まちづくり目標		健やかな成長と人間力をのばせるまち		担当部局名	教育委員会体育振興課
施策名(中)		誰もが気軽にスポーツライフを楽しむ		担当課長	小西まこと
取組み事項		スポーツ施設の整備を行う		実施計画への記載	無
実施計画事業名		温水プール改修事業		主要事業の指定	無
根拠法規及び関連法規					
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民、温水プール利用者			
	誰(何)を対象として	市民、温水プール利用者			
	意図(どのような状態にしたいのか)	利用者が安全で快適に利用できるよう管理運営を行い、健康維持の増進、スポーツの場を提供する。			

2 事業の概要 Do

実施の概要		指定管理者制度により包括的に委託し、温水プール維持管理運営業務を行う。				
活動実績	項目	単位	27年度実績	28年度実績	29年度実績	30年度計画
	利用者数	人	78430	125766	152252	130000

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		27年度決算	28年度決算	前年比	29年度決算	前年比	30年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.026	100	0.028	108	0.028	100	
	参事以下職員	0.300	0.300	100	0.320	107	0.324	101	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	2,589,854	2,608,926	101	2,840,872	109	2,916,496	103	
	事業費	100,216,054	25,862,040	26	19,324,600	75	22,200,000	115	
	合計	102,805,908	28,470,966	28	22,165,472	78	25,116,496	113	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他	601,320	601,320	100	601,320	100	601,000	100	
	一般財源	102,204,588	27,869,646	27	21,564,152	77	24,515,496	114	
合計	102,805,908	28,470,966	28	22,165,472	78	25,116,496	113		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		温水プール利用状況							
指標説明(式)		温水プール利用人員							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
人	目標	100000	100000	100.0	127000	127.0	140000	110.2	
	実績	78430	125766	160.4	152252	121.1			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

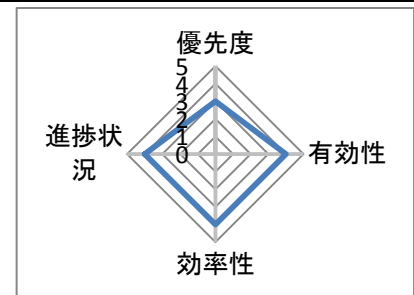
指標名1		温水プール管理運営事業費							
指標説明(式)		温水プール管理運営事業費総額							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
円	目標	99939000	26427000	26.4	22600000	85.5	22200000	98.2	
	実績	100216054	25862040	25.8	19324600	74.7			
指標名2		温水プール管理運営事業費(修繕関係)							
指標説明(式)		修繕料+維持修繕費+工事請負費							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
円	目標	71733000	36000000	5.0	36000000	100.0	32000000	88.9	
	実績	69634188	3200040	4.6	669600	20.9			

5 事業の評価(29年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	軽微な修繕はあるものの、指定管理者の運営努力により時間、施設を有効に活用し、利用者の確保ができた。	4
	組織運営・適正管理	利用者の方向性に応じた運営を行い、要望に対しては迅速な対応を行った。	
効率性	コストの節減	指定管理者による節電、節水等のコスト削減意識により、節減に努められている。	4
	手段の最適性	会員選択制の新規プログラムを設ける等により、会員および利用者の維持に努めた。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	大きな事故もなく、健康維持の増進、スポーツの場を提供できている。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	組織運営・適正管理	経年のため、プール施設改修計画による適正管理が必要である。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた30年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	組織運営・適正管理	異常の早期発見と計画的な施設維持修繕に努め、適正な管理を推進する。

配点	25
総合評価	18

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	010501020100		事業の種類	4			
年度	29	事務事業名	海洋訓練教室推進事業		予算事業名	海洋訓練教室推進事業 優先度		3	
まちづくり目標		健やかな成長と人間力をのばせるまち			担当部局名	市民生活部地域振興課			
施策名(中)		誰もが気軽にスポーツライフを楽しむ			担当課長	松本 秀文		担当者名	今井 玄
取組み事項		スポーツ活動の支援・充実を図る			実施計画への記載	無		主要事業の指定	無
実施計画事業名									
根拠法規及び関連法規									
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民							
	誰(何)を対象として	市民							
	意図(どのような状態にしたいのか)	自然に恵まれた海を利用して、ヨット・ボート・カヌーなど海洋スポーツの普及に努める。							

2 事業の概要 Do

実施の概要		子どもへの海洋スポーツの普及・促進するため、海洋スポーツクラブに事業委託を行い、又活動拠点の海の環境交流ハウスの維持管理を行う。				
活動実績	項目	単位	27年度実績	28年度実績	29年度実績	30年度計画
	参加者	人	980	618	839	900
	会員数(子ども)	人	20	15	16	20

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		27年度決算	28年度決算	前年比	29年度決算	前年比	30年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.026	100	0.028	108	0.028	100	
	参事以下職員	0.004	0.004	100	0.004	100	0.004	100	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	375,182	378,566	101	401,984	106	373,776	93	
	事業費	685,177	687,204	100	681,752	99	723,000	106	
	合計	1,060,359	1,065,770	101	1,083,736	102	1,096,776	101	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	1,060,359	1,065,770	101	1,083,736	102	1,096,776	101	
合計	1,060,359	1,065,770	101	1,083,736	102	1,096,776	101		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		参加者							
指標説明(式)		参加者数							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
人	目標	900	900	100.0	650	72.2	900	138.5	
	実績	980	618	63.1	839	135.8			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

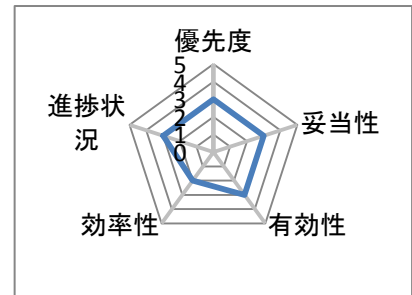
指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(29年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	相生湾特有の穏やかな波を活かし、多くの参加者のもと海洋訓練を行えた。	3
効率性	手段の最適性	B&Gあいおい海洋クラブ(委託先)の、市から自立できる体制整備に取り組む必要がある。	2
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通りに実施することができたが、天候で実施できない日があった。	3

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
妥当性	公共性	主に会員16名のみが、活動している状態である。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた30年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
妥当性	目的の妥当性	海のあるまちに住む相生の子供たちの未来に影響を与えるような事業であり、改善していかなくてはならない

配点	32.5
総合評価	18.5

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	010501020200		事業の種類	3		
年度	29	事務事業名	社会体育計画管理事業		予算事業名	社会体育費事務経費	優先度	3
まちづくり目標		健やかな成長と人間力をのばせるまち			担当部局名	教育委員会体育振興課		
施策名(中)		誰もが気軽にスポーツライフを楽しむ			担当課長	小西まこと	担当者名	朝田訓弘
取組み事項		スポーツ活動の支援・充実を図る			実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名								
根拠法規及び関連法規		スポーツ基本法						
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民						
	誰(何)を対象として	庁内組織、千種川水系地区社会体育担当者会議およびスポーツ推進審議会						
	意図(どのような状態にしたいのか)	近隣市町との情報交換や連絡調整を行うほか、スポーツ推進審議会での答申を得ながら計画的で効率的なスポーツの推進を図る。						

2 事業の概要 Do

実施の概要		近隣市町との情報交換や連絡調整を行うほか、スポーツ推進審議会での答申を得ながら計画的で効率的なスポーツの推進を図る。					
活動実績	項目	単位	27年度実績	28年度実績	29年度実績	30年度計画	
	千種川水系地区社会体育担当者会議	回	1	1	1	1	
	スポーツ推進審議会	回	2	2	2	2	

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		27年度決算	28年度決算	前年比	29年度決算	前年比	30年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.026	100	0.028	108	0.028	100	
	参事以下職員	0.120	0.126	105	0.226	179	0.222	98	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	1,243,094	1,297,836	104	2,115,380	163	2,106,004	100	
	事業費	172,744	179,768	104	154,298	86	193,000	125	
	合計	1,415,838	1,477,604	104	2,269,678	154	2,299,004	101	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	1,415,838	1,477,604	104	2,269,678	154	2,299,004	101	
合計	1,415,838	1,477,604	104	2,269,678	154	2,299,004	101		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		スポーツ推進審議会および千種川水系地区社会体育担当者会議							
指標説明(式)		審議会および担当者会議開催数							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
事業	目標	3	3	100.0	3	100.0	3	100.0	
	実績	3	3	100.0	3	100.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

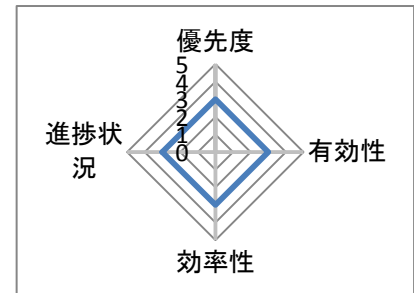
指標名1		スポーツ推進審議会女性委員数							
指標説明(式)		スポーツ推進審議会女性委員数							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
人	目標	3	3	100.0	4	133.3	3	75.0	
	実績	3	3	100.0	3	100.0			
指標名2		一般事務経費							
指標説明(式)		社会体育費事務経費+スポーツ推進審議会報酬							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
円	目標	201000	245000	121.9	198000	80.8	193000	97.5	
	実績		179768	-	154298	85.8			

5 事業の評価(29年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	スポーツ推進審議会は年2回開催することができた。	3
	組織運営・適正管理	審議会委員の若返りには至っていない。	
効率性	コストの節減	スポーツ推進審議会委員報酬のほか、必要事業費のみの予算措置である。	3
	執行体制の効率性	各関係団体からの参画により社会体育振興事業の推進に寄与できた。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	スポーツ推進審議会での答申を得ながら、計画的で効率的なスポーツの推進が図れている。	3

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	組織運営・適正管理	委員構成の若返りと女性委員割合を増やしていく必要がある。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた30年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容

配点	25
総合評価	15

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	010501020300		事業の種類	4		
年度	29	事務事業名	スポーツ活動推進事業		予算事業名	社会体育振興事業	優先度	3
まちづくり目標		健やかな成長と人間力をのばせるまち			担当部局名	教育委員会体育振興課		
施策名(中)		誰もが気軽にスポーツライフを楽しむ			担当課長	小西まこと	担当者名	平野慎司
取組み事項		スポーツ活動の支援・充実を図る			実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名								
根拠法規及び関連法規								
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民						
	誰(何)を対象として	市民						
	意図(どのような状態にしたいのか)	市民が暮らしの中で体力づくりや健康保持等、それぞれの目的に合わせたスポーツ活動を生き生きと展開する。						

2 事業の概要 Do

実施の概要		各種競技スポーツの推進、スポーツクラブ21の推進、国際大会、全国大会出場選手に対する優秀選手激励制度の運用に取り組む。					
活動実績	項目	単位	27年度実績	28年度実績	29年度実績	30年度計画	
	市民体育大会事業等	種目数	19	18	18	18	
	優秀選手激励制度	件	42	38	26	25	

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		27年度決算	28年度決算	前年比	29年度決算	前年比	30年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.026	100	0.028	108	0.028	100	
	参事以下職員	0.656	0.640	98	0.660	103	0.664	101	
	臨時職員	0.144	0.144	100	0.134	93	0.140	104	
支出内訳	人件費	5,616,182	5,546,234	99	5,817,948	105	6,016,016	103	
	事業費	2,708,191	2,584,476	95	2,373,842	92	2,632,000	111	
	合計	8,324,373	8,130,710	98	8,191,790	101	8,648,016	106	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他	233,000	240,000	103	225,000	94	250,000	111	
	一般財源	8,091,373	7,890,710	98	7,966,790	101	8,398,016	105	
合計	8,324,373	8,130,710	98	8,191,790	101	8,648,016	106		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		市民体育大会等実施数							
指標説明(式)		市民体育大会+その他振興事業 ※市民体育大会:15種目 その他:6事業							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
事業	目標	25	22	88.0	23	104.5	22	95.7	
	実績	23	21	91.3	22	104.8			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

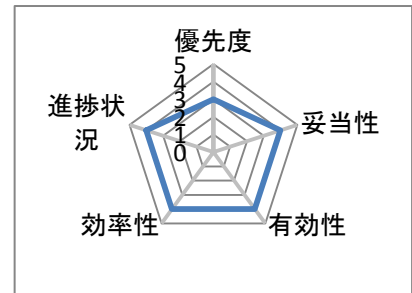
指標名1		市民体育大会等(1種目あたりのコスト)							
指標説明(式)		社会体育普及振興事業費÷大会等種目数							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
円	目標	106160	119772	112.8	115956	96.8	119636	103.2	
	実績	117747	123070	104.5	107901	87.7			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(29年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	制度の運用、各種振興事業とも適切に実施されている。	4
	市民サービス	スポーツ安全保険については、体育協会等の種目団体に広く活用された。	
効率性	コストの節減	優秀選手激励制度については、制度の趣旨を損なわないようにしつつコスト削減に努める。	4
	手段の最適性	適正に運用できた。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	市民一人ひとりの目的に合わせたスポーツ活動が選択できるよう、幅広く展開できている。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	コストの節減	事業の自主的な運営が進むよう、各団体との情報共有をはじめとした連携が必要である。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた30年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	コストの節減	各事業の一人当たりに係る必要事業費を抑えつつ、有効な事業費は確保していく。

配点	32.5
総合評価	24

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	010501020400		事業の種類	4	
年度	29	事務事業名	ジュニアスポーツ振興事業		予算事業名	ジュニアスポーツ振興事業 優先度 4	
まちづくり目標		健やかな成長と人間力をのばせるまち		担当部局名	教育委員会体育振興課		
施策名(中)		誰もが気軽にスポーツライフを楽しむ		担当課長	小西まこと	担当者名	平野慎司
取組み事項		スポーツ活動の支援・充実を図る		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規							
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民(ジュニア層)					
	誰(何)を対象として	市民(ジュニア層)					
	意図(どのような状態にしたいのか)	子ども達のスポーツへの関心が高まり、学校で地域で家庭で生き生きとしたスポーツ活動を展開する。特に小中学生のスポーツ人口の増加と基礎体力の向上を目指す。					

2 事業の概要 Do

実施の概要		小中学生の基礎体力の低下が精神面や人間形成、学力の低下にまで影響を及ぼしている中、児童や生徒に対し、学校体育だけではなく、広くスポーツに接する機会を提供する。					
活動実績	項目	単位	27年度実績	28年度実績	29年度実績	30年度計画	
	相生湾子ビッチ子駅伝	チーム	48	61	61	65	
	少年親善剣道大会	チーム	92	82	78	80	
	ジュニア陸上競技教室	人	121	122	120	120	

3 投入資源

		会計区分	一般会計				事業費単位:円		
インプット指標		27年度決算	28年度決算	前年比	29年度決算	前年比	30年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.026	100	0.028	108	0.028	100	
	参事以下職員	0.638	0.624	98	0.644	103	0.644	100	
	臨時職員	0.140	0.140	100	0.156	111	0.160	103	
支出内訳	人件費	5,471,430	5,415,246	99	5,752,408	106	5,913,936	103	
	事業費	1,420,000	1,420,000	100	1,370,000	96	1,370,000	100	
	合計	6,891,430	6,835,246	99	7,122,408	104	7,283,936	102	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他	268,000	276,000	103	258,900	94	306,000	118	
	一般財源	6,623,430	6,559,246	99	6,863,508	105	6,977,936	102	
	合計	6,891,430	6,835,246	99	7,122,408	104	7,283,936	102	

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		ジュニアスポーツ普及振興事業							
指標説明(式)		事業(大会・教室等数)							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
事業	目標	12	12	100.0	12	100.0	12	100.0	
	実績	12	12	100.0	12	100.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

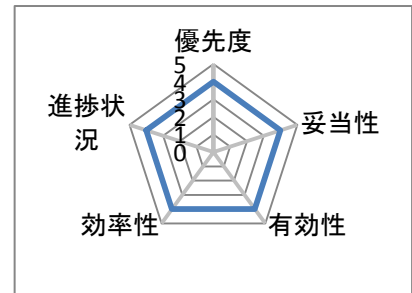
指標名1		ジュニアスポーツ(1大会・教室あたりのコスト)							
指標説明(式)		ジュニアスポーツ普及振興事業÷事業数(大会・教室等)							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
円	目標	118333	122500	103.5	114166	93.2	114166	100.0	
	実績	118333	118333	100.0	114166	96.5			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(29年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	他市町との交流や大会参加により、競技力の向上が図られている。	4
	市民サービス	子ども達に取り組みやすい教室や発達の場を提供できている。	
効率性	コストの節減	児童、生徒数の減少もあり、それに見合ったコスト削減を図っている。	4
	手段の最適性	子どもの基礎体力向上に力点をおいて事業の展開を行っている。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	子ども達のスポーツへの関心が高まってきている。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	市民サービス	少子化と種目の多様化による日程の重複などによって、参加人数に影響がでている。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた30年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	執行体制の効率性	関係団体との連携、調整により日程や事業内容を充実させる。

配点	32.5
総合評価	26

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	010501020500		事業の種類	4	
年度	29	事務事業名	レクリエーションスポーツ振興事業	予算事業名	レクリエーションスポーツ振興事業	優先度	3
まちづくり目標		健やかな成長と人間力をのばせるまち		担当部局名	教育委員会体育振興課		
施策名(中)		誰もが気軽にスポーツライフを楽しむ		担当課長	小西まこと	担当者名	平野慎司
取組み事項		スポーツ活動の支援・充実を図る		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規							
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民					
	誰(何)を対象として	市民					
	意図(どのような状態にしたいのか)	誰もが自分にあった形で生活の中にスポーツを取り入れる。					

2 事業の概要 Do

実施の概要		市民誰もが暮らしの中での体づくりや健康維持等、スポーツを取り入れやすいように、レクリエーションスポーツに親しめる場の確保や大会等の開催を行う。					
活動実績	項目	単位	27年度実績	28年度実績	29年度実績	30年度計画	
	あそぼうる	回	5	5	5	5	
	ターゲットバードゴルフ	回	8	8	8	8	
	グラウンドゴルフ	回	6	5	5	5	
	スポーツフェスティバル参加者数	人	1532	1208	1226	1300	

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		27年度決算	28年度決算	前年比	29年度決算	前年比	30年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.026	100	0.028	108	0.028	100	
	参事以下職員	0.832	0.820	99	0.788	96	0.790	100	
	臨時職員	0.260	0.260	100	0.248	95	0.252	102	
支出内訳	人件費	7,225,218	7,204,946	100	7,106,128	99	7,335,516	103	
	事業費	4,365,000	4,025,000	92	4,025,000	100	4,000,000	99	
	合計	11,590,218	11,229,946	97	11,131,128	99	11,335,516	102	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他	452,600	465,000	103	435,000	94	465,000	107	
	一般財源	11,137,618	10,764,946	97	10,696,128	99	10,870,516	102	
合計	11,590,218	11,229,946	97	11,131,128	99	11,335,516	102		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		開催事業数							
指標説明(式)		あそぼうる、ターゲットバードゴルフ、グラウンドゴルフ、ペタンク							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
事業	目標	19	20	105.3	20	100.0	20	100.0	
	実績	21	20	95.2	20	100.0			
指標名2		スポーツフェスティバルAIOI参加者数							
指標説明(式)		参加者							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
人	目標	1500	1450	96.7	1450	100.0	1300	89.7	
	実績	1532	1208	78.9	1226	101.5			

【効率性】

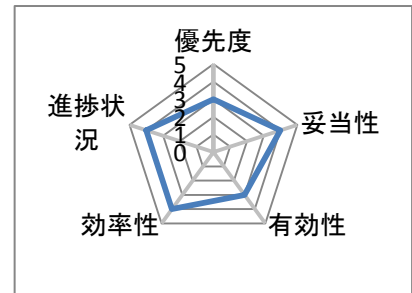
指標名1		スポーツフェスティバルAIOI(1人あたりのコスト)							
指標説明(式)		スポーツフェスティバルAIOIに係る事業費÷参加者数							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
円	目標	2066	2068	100.1	1931	93.4	2000	103.6	
	実績	2023	2317	114.5	2283	98.5			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(29年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	スポーツフェスティバルについては、幼児から高齢者まで、より多くの市民が参加できるよう常にプログラム内容の見直しを行う必要がある。	3
	市民サービス	市民一人ひとりが主体的に行うレクリエーションスポーツについて、行政としてスポーツをする場の提供やきっかけづくりなどの側面支援を行うことができた。	
効率性	コストの節減	市民ニーズを把握、分析しながらスクラップアンドビルドを行い、ニュースポーツの普及等、事業の効果を高める必要がある。	4
	負担割合の適正化	スポーツフェスティバルは幼児から高齢者までの誰もが気軽に参加できるよう、参加料は無料としている。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	市民一人ひとりが自分に合ったレクリエーションスポーツ活動に参加し、住民同士が交流を深めながら健康的な暮らしが図られている。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果目標(改善)達成度	高齢化社会に対応すべく、目標達成のため事業内容と運営方法について検討する。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた30年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
妥当性	市民ニーズ	多世代で取り組める「アジャタ」の市民大会の開催や、地域、職域への貸し出しを行い、未経験の方に機会を提供する。

配点	32.5
総合評価	23

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	010501020600		事業の種類	4		
年度	29	事務事業名	スポーツ教室事業		予算事業名	スポーツ教室事業	優先度	3
まちづくり目標		健やかな成長と人間力をのばせるまち			担当部局名	教育委員会体育振興課		
施策名(中)		誰もが気軽にスポーツライフを楽しむ			担当課長	小西まこと	担当者名	平野慎司
取組み事項		スポーツ活動の支援・充実を図る			実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名								
根拠法規及び関連法規								
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民						
	誰(何)を対象として	市民						
	意図(どのような状態にしたいのか)	初心者を対象としたスポーツ教室を開催し、基礎的な知識と技術の習得を目指すことで、スポーツに関心をもち、親しむ機会を提供する。						

2 事業の概要 Do

実施の概要		スポーツ教室を開催し、基礎的な知識と技術の習得を目指すことで、スポーツに関心をもち、親しむ機会を提供する。					
活動実績	項目	単位	27年度実績	28年度実績	29年度実績	30年度計画	
	スポーツ教室参加者数	人	268	265	201	265	

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		27年度決算	28年度決算	前年比	29年度決算	前年比	30年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.026	100	0.028	108	0.028	100	
	参事以下職員	0.120	0.120	100	0.080	67	0.080	100	
	臨時職員	0.240	0.240	100	0.240	100	0.240	100	
支出内訳	人件費	1,847,654	1,878,306	102	1,620,712	86	1,659,752	102	
	事業費	869,340	878,160	101	604,970	69	877,000	145	
	合計	2,716,994	2,756,466	101	2,225,682	81	2,536,752	114	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他	869,340	878,160	101	604,970	69	877,000	145	
	一般財源	1,847,654	1,878,306	102	1,620,712	86	1,659,752	102	
合計	2,716,994	2,756,466	101	2,225,682	81	2,536,752	114		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		スポーツ教室参加者数							
指標説明(式)		参加者							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
人	目標	280	268	95.7	268	100.0	268	100.0	
	実績	268	265	98.9	201	75.8			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

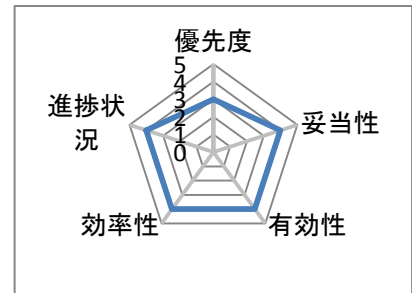
指標名1		スポーツ教室(1人あたりのコスト)							
指標説明(式)		スポーツ教室実施事業費÷参加者数							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
円	目標	3157	3283	104.0	3272	99.7	3272	100.0	
	実績	3243	3313	102.2	3009	90.8			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(29年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	競技場改修工事の影響により一部教室の休講や会場変更を余儀なくされたため、参加者数は昨年度より減少した。	4
	市民サービス	健康体操、卓球、バレーボール、バドミントン、幼児体操の5教室を開催することができた。出席率は高い。	
効率性	コストの節減	講師は体育協会加盟団体を主としたスポーツ団体に依頼しており、事業費は謝礼が主のため、コスト削減は難しい。	4
	手段の最適性	各スポーツ教室とも通常年の開催回数は3期であり、空調設備のない施設としては、教室の開催時期、開催回数ともに最適である。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	スポーツに関心をもち、親しみ、継続する機会を提供できている。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果目標(改善)達成度	教室開催時期以外にも自主的にスポーツができるよう普及促進を図る必要がある。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた30年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	手段の最適性	教室開催のPRを積極的に行い、新規参加を促す。

配点	32.5
総合評価	24

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	010501020800	事業の種類	4
年度	29	事務事業名	スポーツ・文化芸術顕彰事業	予算事業名	スポーツ・文化芸術顕彰事業 優先度
まちづくり目標	健やかな成長と人間力をのばせるまち		担当部局名	教育委員会体育振興課	
施策名(中)	誰もが気軽にスポーツライフを楽しむ		担当課長	小西まこと	担当者名
取組み事項	スポーツ活動の支援・充実を図る		実施計画への記載	無	主要事業の指定
実施計画事業名					
根拠法規及び関連法規					
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民			
	誰(何)を対象として	市民			
	意図(どのような状態にしたいのか)	各種目競技の普及推進、奨励を促す。			

2 事業の概要 Do

実施の概要	権威ある大会等において、成績が顕著な個人や団体に対しスポーツ顕彰の贈呈を行うことで、競技者の士気を高め、さらには各種目競技の普及推進、奨励を促す。					
活動実績	項目	単位	27年度実績	28年度実績	29年度実績	30年度計画
	スポーツ顕彰	件	38	45	46	58

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		27年度決算	28年度決算	前年比	29年度決算	前年比	30年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.026	100	0.028	108	0.028	100	
	参事以下職員	0.260	0.260	100	0.264	102	0.260	98	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	2,290,574	2,307,526	101	2,408,664	104	2,407,952	100	
	事業費	104,600	91,200	87	149,800	164	223,000	149	
	合計	2,395,174	2,398,726	100	2,558,464	107	2,630,952	103	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	2,395,174	2,398,726	100	2,558,464	107	2,630,952	103	
合計	2,395,174	2,398,726	100	2,558,464	107	2,630,952	103		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1	スポーツ顕彰受賞者数								
指標説明(式)	県大会以上に進み、スポーツ顕彰を受賞した人数								
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
人	目標	60	60	100.0	58	96.7	58	100.0	
	実績	38	45	118.4	46	102.2			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

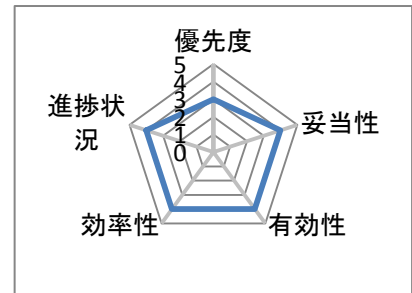
指標名1		スポーツ顕彰受賞者(1人あたりのコスト)							
指標説明(式)		スポーツ・文化芸術顕彰事業÷受賞者							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
円	目標	6750	4083	60.5	3448	84.4	3448	100.0	
	実績	2752	2026	73.6	3256	160.7			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(29年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	教育委員会として顕彰制度の一本化を図り、「相生市スポーツ顕彰に関する要綱」として施行している。	4
	市民サービス	競技スポーツに取り組む人の努力にこたえることができた。	
効率性	コストの節減	制度の趣旨を損なわないようコスト削減に努める。	4
	手段の最適性	要綱に基づき、有識者の意見を聞きながら適正に運用できた。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	功績に相応した顕彰を贈呈できている。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果目標(改善)達成度	受賞資格が明確になっている。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた30年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
妥当性	市民ニーズ	対象者の的確な把握を行うこと

配点	32.5
総合評価	24

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	010501030100		事業の種類	3	
年度	29	事務事業名	スポーツ推進委員事業		予算事業名	相生市スポーツ推進委員事業 優先度 3	
まちづくり目標		健やかな成長と人間力をのばせるまち			担当部局名	教育委員会体育振興課	
施策名(中)		誰もが気軽にスポーツライフを楽しむ			担当課長	小西まこと 担当者名 平野慎司	
取組み事項		スポーツリーダーを育成する			実施計画への記載	無 主要事業の指定 無	
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規		スポーツ基本法					
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民					
	誰(何)を対象として	市民					
	意図(どのような状態にしたいのか)	地域でのスポーツリーダーとして活動することで、スポーツ活動が活性化する。					

2 事業の概要 Do

実施の概要		スポーツ推進委員の資質向上のため、各大会への参加、近隣の市町や市内での交流会、研修、講習参加や開催に取り組む。					
活動実績	項目	単位	27年度実績	28年度実績	29年度実績	30年度計画	
	スポーツ推進委員会	回	9	9	9	9	

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		27年度決算	28年度決算	前年比	29年度決算	前年比	30年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.026	100	0.028	108	0.028	100	
	参事以下職員	0.332	0.332	100	0.324	98	0.324	100	
	臨時職員	0.020	0.020	100	0.016	80	0.020	125	
支出内訳	人件費	2,879,658	2,902,186	101	2,913,888	100	2,973,336	102	
	事業費	3,246,780	3,440,500	106	3,123,660	91	3,358,000	108	
	合計	6,126,438	6,342,686	104	6,037,548	95	6,331,336	105	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	6,126,438	6,342,686	104	6,037,548	95	6,331,336	105	
合計	6,126,438	6,342,686	104	6,037,548	95	6,331,336	105		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		スポーツ推進委員数							
指標説明(式)		スポーツ推進委員数							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
人	目標	29	29	100.0	27	93.1	28	103.7	
	実績	27	25	92.6	25	100.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

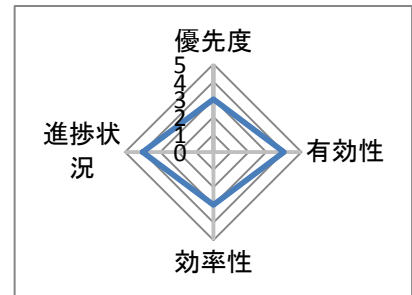
指標名1		スポーツ推進委員報酬							
指標説明(式)		スポーツ推進委員報酬総額							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
円	目標	3311000	3170000	95.7	3170000	100.0	3116000	98.3	
	実績	3118500	3154000	101.1	3009600	95.4			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-			

5 事業の評価(29年度実績) Check

評価視点	具体的な評価観点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	各事業の指導や支援が円滑に行われている。	4
	組織運営・適正管理	組織運営は適切かつ円滑に行われている。資質向上のための研修にも積極的に参加している。	
効率性	コストの節減	各種事業や新規スポーツ事業等の応援をスポーツ推進委員に依存しているため、報酬の削減は困難である。	3
	執行体制の効率性	女性委員の増員、委員の若返りを図れた。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	地域でのスポーツリーダーとして自覚し、積極的に活動できている。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	執行体制の効率性	地域スポーツのリーダー確保や育成が重要であるので、多様な種目や地域から均等に委員を選出し世代交代に備える必要がある。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた30年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	コストの節減	事業ごとに必要な人数を確保しつつ、毎年固定の配置にならないよう将来を考慮したうえで効率的な配置を行い、コストの削減を図る。

配点	25
総合評価	17